

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
6 月 11 日	代表 1	12	金川 敏子 (代表) 【一括質疑】	村椿 市長	1 魚津市東山の半導体受託生産大手、タワーパートナーズセミコンダクター社の工場拡張計画について
					(1)魚津市としての具体的な役割と今後の体制について
					① 富山県では、タワー社の新工場建設に向けて新たな支援チームを作ると聞いているが、地元の魚津市において、どのような体制を考えているか魚津市の見解を問う。
					(2) 産業インフラの高度化と安定供給について
					① 半導体工場は大量の工業用水が必要で、安定供給は、北アルプスの豊かな地下水や河川水は、大きな強みです。さらなる増産計画に合わせ、近隣の住民と共存できる最高の方法を計画すべきです。魚津市の見解は。
					② 工場の使用電力の想定について魚津市の見解は。
					③ 周辺道路の整備増産に伴う物流の活性化を見据え工場周辺や高速道路へのアクセス道路の利便性向上は、市が担う重要な後押しとなりますが、魚津市の見解は。
					(3)「暮らしやすさ」による人材の定着について
					① 高度な技術を持つエンジニアなど人材確保について魚津市の対応について市の見解は。
				② 社員や家族が魚津市に移住・定着するための環境整備、居住エリアの確保の為の市街地開発について市の見解は。	
				江田 産業振興部長	(4)地元企業とのサプライチェーン構築について
					① タワー社の拡張を単一企業の成長に留めず、市内の製造業やサービス業へ波及させる戦略で、部品供給など地元中小企業が参入するための橋渡し役について市の見解は。
					② スタートアップとの連携、魚津市が掲げる地方創生プロジェクトと連動し、半導体関連のITスタートアップや関連技術を持つ企業の誘致について市の見解は。
					(5) 地域振興・まちづくりとのシナジー
					① 世界最先端のアナログ半導体(光学・フォトニクス技術)が魚津で生まれていることを市民、特に次世代を担う子どもたちが誇りに思えるような教育・広報活動などにつき市の見解は。
					② 産業観光の視点「半導体の街」としてのブランディングを行い、教育視察や産業視察を呼び込む拠点として関係人口を増やすことについて市の見解は。
				赤坂 総務部長	(6)魚津市への経済的な影響について
					① どのような税が関係してくると考えられるか。
					② 魚津市は、以前、土地の提供をしています。その土地に新工場を建設する計画ですが、今回新たに市からの補助について心配していますが、魚津市の見解を問う。
				江田 産業振興部長	③ 社員や家族の人口増や、関係人口が増えることによる魚津市への経済効果について市の見解は。
					2 魚津高校が国が進める公立高校改革の拠点校に採択されたことについて
山瀬 教育長	理数系コースや物理・化学を学ぶことに対する生徒・保護者の意識が劇的に変化しています。文理融合の思考力を持つ人材の育成、				
	① 県全体の進学指導の質的転換、理数系重視モデルの県内他校への普及、産学官連携の高校探求教育モデル創出など、魚津高校が拠点校になる事で、教育委員会は、進路指導にどのように活用されますか。				

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
6 月 11 日	代表 2	6	石崎 一成  (代表)  【一問一答】	山瀬 教育長	1 魚津市史について
					① 魚津市史をはじめとした市の著作資料や図説のOCRとPDF化について、その必要性や進捗について伺う。
					② 魚津図書館のHPにリンクされる電子図書館で公開されている魚津町誌、新川郡史稿上下巻、魚津市史についてはPDF化されているもののデジタル図書としてのパフォーマンスに欠けていると考える。今後は改善されるのかについて見解を伺う。
					③ これまでの魚津市史全7巻をPDF化とOCR、目次やしおりの機能を付加した上で検索機能にも対応することで、デジタルネイティブな世代にも魚津市史を歴史的に知ってもらえるチャンスが増えると考えます。取り組んでみる価値はあると思えるが、見解を伺う。
					④ デジタル化のメリットの1つとして翻訳機能に対応できるということがある。文脈や体裁を翻訳アプリに合わせて校正することで、多言語化にも一定程度対応できると考える。本市の計画には関係人口や交流人口の増加促進、インバウンド客の誘致を載せている。文化庁では外国人観光客のインバウンド促進についてニーズ調査もっており、祭りなどの伝統芸能の歴史背景に強い関心があると捉えている。本市においては、どのような調査研究をなされているのかについて伺う。
					⑤ これまでの市史はいずれも市の職員が中心となり編纂している。民俗編に関しては外部の専門家を招聘するなどの体制強化が求められると感じるが見解を伺う。
					⑥ 近代から現代の流れ、こと昭和から令和までについては変化のスピードや情報量が大きく膨らんでいると考えられる。調査をするにあたり多くを知る方の存在にタイムリミットが来ていると考えるが、見解を伺う。
				山瀬 教育長 (村椿 市長)	⑦ 「民俗編」の出版は本市における観光産業分野、教育分野、行政執行部それぞれにおいて、趣旨や理念、PRのポイントなどの筋を得るという意味でも大きなメリットがあると考えます。それぞれの主観的目線での見解を伺いたい。
				江田 産業振興部長	2 内水面漁業と承継について
					① 高齢化により組合員や鮭の採卵孵化などの事業に関わる人材の不足が生じてきていると伺っている。また、アユを目的とした遊魚者の減少についても同様であると伺っている。現状はどのように把握されているのか？
					② 若手の遊魚者や釣り人を獲得していくことが今後の持続性を持たせるためにも大切である。若者が興味の湧きそうな釣り情報の発信や、教え手が少なくなっている投網の使い方や川魚を学べるコンテンツを創出できないか？
					③ 魚津は多くの鮭鱒船団が出航し、豊かな漁村を築いた歴史がある。また、ヤナ場での鮭漁、採卵孵化から放流は育てる漁業の原点でもある。鮎などの遊魚はその漁法も含め次世代に繋げたい守るべき文化であると考えます。安定した遊魚を実現するためには、漁業法第四章第六十条に定める第五種共同漁業、同法第八章で規定される内水面漁業である必要があることから、県にも関わりを求めて持続的なかたちづくりを行うべきと考えるが見解を伺う。

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
6 月 11 日	個別 1	11	松倉 勇 (個別)  【一問一答】	河崎 新庁舎整備室長 (石黒 副市長)	1 新庁舎建設事業について
					① 物価高騰分の再試算について伺います。当局の4年前の試算70億円という金額は、いつ、誰が、どの積算根拠に基づいて算出したものなのか。
					② 財源確保について伺います。増額が必要となった場合、市債の増額、国補助の申請、基金の積み増し、他の基金の取り崩し、他事業の見直し、これらのうち、どの手法を用いるのか。具体的な財源構成を示してください。
					本市は今後も人口減少が続くことが確実です。
					③ 延床面積6,500㎡は本当に適正規模なのか。将来の職員数減少や人口減少を見込んだフロア縮小や民間貸しなど、用途転換が可能な設計になっているのか。
					④ 維持管理費(光熱費・修繕費)の30年スパンの試算を示してください。
					⑤ 本市の新庁舎建設において、入札不調・応札ゼロが発生した場合の対応方針を示してください。
				⑥ 工事費がさらに高騰した場合、仕様縮小・段階整備・面積見直しなどの代替案を検討しているのか、明確にお答えください。	
				村椿 市長	2 令和9年春の魚津市内全地区コミュニティセンターの指定管理導入について
					令和8年3月26日開催された第五回自治連合会、定例会の会議録を基に質問致します。
① 地区での指定管理の合意形成の方法を市として明文化すべきではないか					
② 事務員の待遇・身分に関する“最低基準”を示すべきではないか					
③ 各地区振興会の名称変更の手続きに標準フローを示すべきではないか					

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者				
6 月 11 日	個別 2	3	大城 章仁 (個別)  【一問一答】	村椿 市長	1	物価・資材高騰対策について		
						① 本市独自の物価高騰対策として、たとえば中学校の給食費の無償化等を図るべきだと考えるが、当局の考えを問う。		
						② 市の事業に際し、受注事業者に損失が生じないよう、資材・労務費等の上昇分を補填するための契約変更のあり方について問う。		
						高森 生涯学習・スポーツ課長	2	公共スポーツ施設及び学校施設等の照明LED化について
					① 公共スポーツ施設における照明LED化の進捗状況・割合を問う。			
					② 公共スポーツ施設の維持管理における水銀灯使用の影響と限界についての当局の理解と認識を問う。			
					③ スポーツ施設長寿命化計画においてLED化の具体的な計画・数値目標が示されていない理由を問う。			
						村崎 教育委員会事務局次長		④ LED化のための財源確保及び導入方法につき、どのような検討がなされているのかについて問う。
					⑤ 学校体育館における照明LED化の進捗状況・割合を問う。			
					⑥ 学校体育館・スポーツ施設の具体的な数値目標を盛り込んだ、照明LED化の年次計画策定の意向について問う。			
						寺崎 教育委員会事務局次長		⑦ 上記⑥の両施設のLED化を進めるにあたっての当局の優先順位の考え方を問う。
					3		小中学生の部活動に係る移動・移送の安全確保について	
	① 地域移行されつつある小中学生部活動の責任の所在について問う。							
			② 部活動における移動・移送の安全確保に関する基準・マニュアル及び、磐越自動車道事故を受けての見直しについて問う。					

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者		
6 月 11 日	個別 3	7	八倉巻 正臣  (個別)  【一問一答】	高森 生涯学習・スポーツ課長	1	魚津市地域クラブ活動推進計画について  魚津市では、令和5年～7年国の改革推進期間に合わせて、段階的に部活動改革・地域クラブ活動の推進に取り組んできたと思います。また、国の「改革実行期間」に合わせて、本推進計画の期間を令和8年から13年までの6年間とするものです。
						① 本市における中学部活動地域移行の状況は。運動部・文化部
						② 練習場所や練習試合などで市外・県外に行く場合、生徒の移動手段の現在の状況は。
				矢野 民生部次長	2	民生委員・福祉推進員のなり手不足について  地域にとって必要とされている、民生委員・福祉推進員のなり手不足や高齢化が進んでいると感じます。
						① なり手不足の認識、また、対応と対策は。
				村椿 市長	3	定年引き上げに伴う人事制度について  令和6年12月定例会で役職定年制度の質問をしています。市長は役職定年制度の特例の運用については、今後必要な状況が出れば検討していきたいと思っていますと答弁されました。
						① 今年度から役職定年制度の特例が採用されましたが、特例とは何か。また、なぜ特例までに至ったかその経緯を問う。
						② 特例の場合の給与体系を問う。

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
6 月 11 日	個別 4	2	寺口 俊光 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 富山地方鉄道について
					(1) 富山地方鉄道の経営について
					① 人材不足のダイヤへの影響について
					② 設備等の老朽化とメンテナンスコストについて ・特に架線や変電設備のメンテナンス
					③ 片貝川橋梁等、極限になってからのメンテナンス対応について地鉄の経営に疑問を感じないか？
					④ 地鉄を再構築する場合、再構築期間10年間の魚津市の負担額は？負担割合は令和8年度と同じとするといくらになるのか？
					⑤ 地鉄を10年かけて再構築したあと、赤字負担や鉄橋、高架橋の更新などで魚津市が負担すべき経費は？こちらも負担割合を令和8年度と同じとするといくらになるのか？
					(2) 気動車について
					① 気動車の導入のメリット・デメリットについて
					② 将来の宇奈月線の需要を考えると電車はオーバースペックではないか？
					③ JR西日本等から借り受けた気動車を宇奈月駅まで社会実験として運行してみる事を提案するが、沿線自治体と連携し、富山県、あいの風とやま鉄道、JR西日本、地鉄との調整は可能か？
					④ 気動車を活用して宇奈月線を再構築した場合のかかる経費や技術的な課題について富山県に調査を依頼すべきではないか？
				(3) 魚津駅について	
				① 鉄道結節点としての魚津駅の価値やその価値の最大化に3番線ホーム乗入れの価値について	
				② 宇奈月線を3番線に乗入れできれば、ある程度まとまった遊休地が確保できる。パークアンドライドに活用できないか？	
				(4) みなし上下について	
				① 上を「あいの風とやま鉄道」にやって頂く場合のメリット・デメリットは？	
				小林 建設部次長	2 スマートシュリンク(賢く効率的に縮む)の取組みについて
					(1) コンパクトシティ・プラス・ネットワークについて
					① 国土交通省や内閣府は「コンパクト・プラス・ネットワーク」政策を進めている。魚津市の「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」政策との違いは？
					② 都市機能誘導区域と居住誘導区域とあるが、それぞれの誘導効果を確認するための数値目標はあるのか？
					③ 経田駅前の広場？は、舗装されていない。舗装すると利便性が向上する。地権者は地鉄のようだが、みなし上下になる場合、市が管理する事になるのか？
					④ 市民バス西布施ルートが道路工事の影響で一部のバス停が使用禁止になっている。ネットワークが維持できないがどのように考えているのか？
				⑤ 「チョイソコ」事業は下中島・上中島・松倉・上野方・本江地域で導入されているが、類似事業を滑川市では全市エリア対象でスタートさせている。導入された5地域以外の地域の「チョイソコ」導入スケジュールを示すべきと考えるがいかがか？	
館 総務部次長	(2) DXやAIについて				
	① 市役所前案内看板の役割は終えているのでは？改善点や必要性を問う。				
	② 市民向け生成AI「ミラChat」の評判や精度、課題を問う。				

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
6 月 11 日	個別 5	5	島田 修  (個別)  【一問一答】	高森 生涯学習・スポーツ課長	1 新川学びの森天神山交流館について
					① 新川学びの森天神山交流館の現状について 12月議会答弁があった、(株)IMFの撤退に伴う必要な範囲での「原状回復」は完了したのか？
					② プロポーザルの状況について 4月から実施されたプロポーザルの結果は、どうだったのか？
					③ プロポーザル不成立の場合の市の対応について 現在進められている施設管理者募集について、応募がなかった場合、または事業継続が困難となった場合、市はどのような対応を考えているのか？
					④ 学びの森交流館が担ってきた文化的資産の継承について 文化振興政策を策定の中、文化的蓄積をどのように継承し、次世代へ活かしていくのか考えをお聞かせください？
					⑤ 天神山地域の将来ビジョンについて 天神山地域を10年後、20年後にどのような地域として発展させたいと考えていますか。またその実現に向けて市としてどのような方向性を持っていますか？
				山瀬 教育長	
				村椿 市長	
				廣田 市民自治推進課長	2 地域振興会の指定管理について
					① コミュニティセンターの指定管理について 令和9年度には全コミュニティセンターが地域振興会の指定管理者に移行することが市の方針となっていますが、予定通り進むのでしょうか？
					② 事務員の仕事量について 指定管理化で給与計算など事務員の仕事量が増えるため、統一したシステムの提供などのサポートを行う考えはありますか？
					③ 事務員の処遇について 指定管理になれば事務員は地域雇用になり、基本給等は現在の会計年度任用職員と同等と聞いていますが、退職金制度については現行の市条例に基づく会計年度任用職員の退職手当よりも受給額が下がるのでしょうか？
					④ 指定管理料について 施設使用料や事業で収益が出た場合、次回の更新時に市から指定管理料が減額されるのでしょうか？
					⑤ 指定管理の市直営への差し戻しについて 3年間の指定管理期間の中で、地域の実情に合わない判断した場合、市直営に戻すことは可能でしょうか？
				米島 子ども課長	3 ギャンブル依存症による子どもの貧困防止対策について
					① 児童手当の受給者決定の基準について 魚津市では「児童の生計を維持する程度の高い者」を判断する際、一律に収入の高い方を受給者としているのか？
					② 児童手当の受給者変更について 夫がギャンブル依存症で手当てを使い込んでいる場合、妻名義の口座に変更するための要件は設けていますか？設けているとすればどのような要件ですか？
					③ 受給者変更の確認方法について 受給者変更にあたり、「離婚の意思表示」や「別居(住民票の異動)」は必須なのか？その確認方法は何か？
					④ 受給者変更の手続きと市民への通知について 子ども家庭庁(令和5年)でも柔軟な対応が求められており、DV併存時は夫との接触を避ける配慮が必要です。ギャンブル依存症がある場合、同居を継続する場合、別居・離婚手続きを行う場合、DVが併存する場合について、児童手当の受給者変更に必要な書類と手続きを、具体的に市民に伝えるべきではないか？所見を問います。

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者		
6 月 12 日	個別 6	14	中瀬 淑美 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1	物価高騰から市民生活と地域経済を守る対策について
					① エネルギー価格や物価の高騰が市民生活に与える影響の認識と、生活困窮世帯への支援について	
					② 燃料費や原材料費の高騰による市内事業者への影響と、事業継続に向けた支援について	
				山瀬 教育長	2	英語教育の推進について
					① 小学1年生から実施している英語教育の成果と課題について	
					② 英語教育の成果を客観的に見える化するため、英検など外部試験の受験料の一部助成をし、英語学習への挑戦を後押ししてはどうか	
				池川 民生部参事	3	乳がん検診について
						① 乳がん検診の受診率向上対策について
						② 高濃度乳房への対応について
						③ 40歳未満の若年層への啓発について ④ 30代を含む若年層への啓発や相談体制の強化について
				米島 こども課長	4	「思いやり駐車場」と「ベビーカーマーク」の導入について
						① 本市の思いやり駐車場の現状と課題について
						② 子育て世帯向けのベビーカーマーク導入についての考え。 ③ 「子育てにやさしいまち魚津」として、安心して利用できる駐車環境整備を進める考えについて
				山本 防災危機管理室長	5	防災対策の強化について
						① 避難所受付における課題認識について
						② QRコード等を活用した「避難所チェックインシステム」の導入に向けた研究・検討について
						③ 避難情報の一元管理や広域避難を見据えたデジタル化について ④ 「災害用井戸登録制度」の導入及び井戸の調査・活用について

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者											
6 月 12 日	個別 7	4	野村 明男  (個別)  【一問一答】	館 総務部次長	1 公共施設料金の見直しについて  公共施設使用料の適正化に関する基本方針により、令和9年4月からの改定が予定されている。受益者と公費の負担を半々などにする考え方は理解できる。  ① 値上げ分は赤字補填のみか。Wi-Fi設置や電子決済等、利便性の向上も検討すべきではないか。  ② 子育て世代の利用(例バーベキュー施設)については、負担の割合を減らすことを検討すべきではないか。										
					寺崎 教育委員会事務局次長	2 不登校出現率目標の妥当性について  第2期と第3期の魚津市教育振興基本計画の不登校出現率(小学校)実績と目標は以下の通りである。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>第2期 (3~7年度)</th> <th>第3期 (8~12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現率実績</td> <td>1.05%(元年度)</td> <td>4.09%(6年度)</td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td>0.7%(7年度)</td> <td>3.8%(12年度)</td> </tr> </tbody> </table>  ① 第3期で目標値を緩和した背景は、国の「無理な登校を目指さない等」の方針への追随なのか。  ② 市が手厚い対策をしながら出現率が減少しない本質的な要因をどう分析しているか。		第2期 (3~7年度)	第3期 (8~12年度)	出現率実績	1.05%(元年度)	4.09%(6年度)	目 標	0.7%(7年度)	3.8%(12年度)
							第2期 (3~7年度)	第3期 (8~12年度)							
					出現率実績	1.05%(元年度)	4.09%(6年度)								
			目 標	0.7%(7年度)	3.8%(12年度)										
			寺崎 教育委員会事務局次長	3 オンラインすまいる事業について  令和8年度より学校外での学びの場として本事業(対象者定員10名)が始まる。  ① 誰がいつどのように行うのか。簡潔に概要を問う。  ② 市内の不登校児童生徒は何名で、どのように対象者10名を選んだのか。  ③ なぜ全保護者家庭に周知を図らなかったのか。  ④ 出席扱いになるのか。判断基準と理由も問う。											
				館 総務部次長	4 通学路安全見守り事業について  令和5~7年度まで全小学校でのセンサーを活用した通学路安全見守り事業を約1200万円で実施した。  ① 交通量や事故データと重ねた結果、一番の課題は何か。  ② 「データ共有ルール」を早急に構築し、市や県の担当課と共有し、冬季の歩道除雪や地域の青パト巡回に活用することが有効と考えるが、所見を問う。										
					山本 総務部次長	③ 通学路を含めた道路の防犯カメラの設置状況を、警察等とも連携して一元的に把握しているのか。									
				寺崎 教育委員会事務局次長	5 中学校部活動の移動時の危機管理について  県外で対外試合のバス移動中に生徒が死傷する事故が起きた。中学校部活動は地域展開が進んでいる。  ① 対外試合における移手段の現状(保護者送迎、民間バス、レンタカー等)と、安全管理に対する教育委員会の認識を問う。  ② 移動中の事故に対する「安全管理責任」や「賠償責任」は誰が負うことになるのか。  ③ バス配車がない場合の保護者による「乗り合い送迎」に対する教育委員会の見解や指導指針は。  ④ 先のバス事故では顧問が同乗していなかったことが問題となったが、中学校の現状はどうか。										

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者		
6 月 12 日	個別 8	13	浜田 泰友  (個別)  【一問一答】	宮崎 建設部長	1 魚津市水道事業について	
					① 魚津市水道事業の現状の経営状況について、収支状況、料金回収率、施設更新費用の見通しを含めて問う。	
					② 直近の有収率(配水量に対する料金収入対象水量の割合)の状況はどうか。また、全国平均及び類似団体平均と比較してどのような水準にあるか。	
					③ 水道事業の経営改善に向け、施設更新、漏水対策、有収率向上、収益確保の観点から、今後どのように取り組む考えか。	
					④ 本市の水道施設利用率には余裕がある。猛暑対策及び水道事業の経営改善の観点から、「水で夏を乗り切るまち」として、水資源の民間利用促進や新たな利活用策を検討してはどうか。	
				赤坂 公共施設再編推進室長	2 公共施設再編について	
					① 今後、民間譲渡又は売却を予定している公共施設及び土地はあるか。また、それによる売却収入、維持管理費削減をどのように見込んでいるか。	
					② 令和11年度までに小中学校プールを順次解体する計画となっている。一方、学校統合に伴うコミュニティセンターのプールが計画対象となっていないが、どのように整理しているか。	
					旧総合体育館に歴史民俗博物館の収蔵品が仮置きされている。	
					③ 旧総合体育館に仮置きされている歴史民俗博物館収蔵品について、今後の収蔵庫整備をどのように計画しているか。	
				窪田 民生部長	3 魚津のまちづくりについて	① 新川文化ホールに併設される県の新川こども施設の建設が始まった。改めて、施設機能及び期待される役割をどのように認識しているか。
						② 富山地方鉄道本線あり方調査事業の報告書では、利用者を増やす取り組みとして魚津水族館駅の新駅設置が提案されている。本市としてどのように考えているか。
						③ 魚津のまちづくりを考えるにあたり、新川こども施設や魚津水族館への交通アクセスは重要な要素となる。道路網、公共交通、周辺土地利用を含めた都市計画上の位置づけをどのように考えているか。
				宮崎 建設部長		
				石黒 副市長		
				窪田 民生部長	4 環境美化について	① 令和元年に実施された「世界で最も美しい湾クラブ」関連事業の海岸清掃のように、市民が自由参加できる全市的な一斉海岸清掃の実施を検討してはどうか。
② 鴨川清掃は地域の高齢化・人口減少により活動規模の維持が難しくなっている。今後どのような支援や体制づくりを考えているか。						
③ 市民意識醸成及び環境美化推進のため、「環境美化の日」の設定を検討してはどうか。						

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者				
6 月 12 日	個別 9	1	宮坂 昌利  (個別)  【一問一答】	清水 水族博物館長	1	魚津水族博物館について		
						① 近年の利用者数及び入館料の推移と、今後の目標値を伺います。		
						② イシガキフグの「カワイコちゃん」が持つ価値をどう認識し、SNS等を活用して国内外への魅力発信をしていく予定はないのか？		
						③ さかなクンのゆかりを活かした体験型企画の実施や限定グッズの販売など、新たな収益確保や集客への取り組みについて伺います。		
						小林 建設部次長	2	チョイソコウおづについて
					① 令和7年11月からの運行開始以降の利用実績・登録者数の推移と市民から寄せられた要望や苦情の具体的な内容を伺います。			
					② 利用者増加に伴い予約が取りづらくなっている現状に対し、どのような対策を講じているか伺います。			
					③ 車両の大型化(市民バス車両への変更)に伴い、狭あい地域への侵入が困難になった場所への対応策を伺います。			
						米島 こども課長	3	ヤングケアラー実態調査について
					① 実態調査の調査方法及び結果を伺います。			
					② アンケートの内容が、ヤングケアラーに直接関係のないものであったり、設問が多いと感じた。このアンケートは魚津市独自のものなのか？それとも他市でも実施されている一般的なものなのか？			
					③ 表に出てこない「隠れヤングケアラー」を早期に発見し、把握するための今後の取り組みについて伺います。			

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
6 月 12 日	個別 10	10	岡田 龍朗  (個別)  【一問一答】	石黒 副市長	1 地域経済について
					① 魚津市内の(タワーパートナーズセミコンダクター社)が大規模な設備投資を行う計画と報道されている。魚津市は事業内容等について、どう把握しているのか。その地域経済への影響効果をどう捉えているのか。
					② 報道によると、隣接地を取得するとしているが、どのような規模となるのか。現在の空いている敷地では、不十分なのか。魚津市は、用地取得に関わることになるのか。
					③ 県は「半導体産業推進チーム」を新設するとしているが、魚津市での具体的な対応策はあるのか。
					④ 半導体産業は、電力、水資源を大量に消費する。その半導体工場拡大に伴う地下水の影響はどうか。
			前田 産業振興部次長	2 ふるさと納税について	
				① ふるさと納税の経緯、目的を伺う。	
				② 魚津市のふるさと納税の実績と評価について、どのように考えているか。また、企業版ふるさと納税とはどのようなものなのか。今後の見通し、課題はどうか。	
			館 農林水産課長	3 農業について	
				① 市民生活に関わる米の価格や米供給について、今年度はどのように捉えているのか。	
				② 米品質向上対策として、田植え時期の繰り下げ等が行われている。稲作農家でどれくらい行われているか。	
				③ 米の作付けとして、「富富富」の生産拡大がある。魚津市の作付け割合はどれくらいなのか。そのうえで6月補正予算案に盛り込まれている「富富富」の生産拡大に向けた乾燥調製施設整備への支援がある。その支援は具体的にどのようなものなのか。	
				④ 魚津市は果樹栽培も行われている。地球温暖化は果樹栽培にも影響があると考えますが、どのような影響があるのか。	
			⑤ 昨今の経済情勢は、各分野の事業において厳しいものであると言える。地域の農業を担う農業法人等の廃業が、少なからず発生していると聞き及んでいる。魚津市の農業法人等の経営状況はどうか。		

魚津市議会 令和8年6月定例会

2026/6/11、6/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者		
6 月 12 日	個別 11	16	越川 隆文 (個別)  【一括質疑】	村椿 市長	1 魚津市の半導体産業支援状況について  次世代半導体産業クラスターの形成と産業用地の最速確保について 本年3月、タワーセミコンダクターはタワーパートナーズセミコンダクター (TPSCo) の事業再編を行い、魚津の12インチウエハー製造拠点を完全子会社化するとともに、最先端の「シリコンフォトニクス(光半導体)」等のAI向け需要に対応するため、生産能力を最大4倍に引き上げる拡張計画を発表した。 ① さらに、新田知事が提唱する「半導体産業北陸コンソーシアム」の形成により、本市が北陸の「最先端製造・実装拠点」の中核を担う必然性が生じている。 サプライチェーンを構成する高機能材料や製造装置関連のサプライヤー、あるいは光半導体のボトルネックである「先進パッケージング(後工程・実装)」関連企業の集積を図るため、市内の産業用地の確保、および農地転用等の都市計画手続きを超特急(最速)で進めるべきと考えるが、市長の具体的な見解とロードマップを伺いたい。	
					② グローバル人材・高度技術者の受け入れ体制と生活インフラのドラステックな整備について 魚津工場が世界最先端のファンドリとして機能するに伴い、国内外から高年取のエンジニアやグローバルスタッフ、およびその家族の多数の移住・長期滞在が見込まれる。 これら高度技術者層に「選ばれる都市」となるためには、従来の地方都市のインフラでは不十分である。 行政・医療・教育(英語対応やインターナショナルスクール機能の確保・連携)の国際化、およびグローバルスタンダードに耐えうるスマートで良質な住環境の供給支援について、本市としてどのようなドラステックな施策を展開するのか、当局の基本方針を伺いたい。	
					③ 北陸の高等教育機関と連携した専門人材育成と若者の定着について 富山大学や富山高専、さらには金沢大学や北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)等、北陸三県の産学官が連携した「シリコンフォトニクス・先進アナログ半導体」の実践的インターンシップや専門人材育成プログラムを、本市が主導的に支援・誘致すべきである。 「魚津に行けば世界最先端のAI半導体技術が学べる・働ける」という強力なブランドを確立することは、本市の若者の県外流出を食い止め、関係人口から定住人口へと繋げる最大の好機であると考えますが、教育および経済部局の連携による具体策を伺いたい。	
					④ PfasPfosなどの水質汚染防止のための検査をすべきですがお考えを伺います。	
				村椿 市長	2 富山地方鉄道問題について  県が示した試算に対する認識について ① 県主導の試算はコスト面(支出)に偏っており、新しい地域デザインや利用促進による「収益増加(リターン)」のシミュレーションが欠落していると考えますが、市としての現状認識を伺います。  本市における「鉄道を活かした関係人口・収益創出」の具体策について ② 新魚津駅や電鉄魚津駅の維持を前提とした上で、市民や域外からの来訪者が「乗りたくなる、使いたくなる」仕組みづくり(二次交通との連携、観光・文化イベントとの連動など)により、トップライン(運賃収入や経済波及効果)を最大化する施策はあるか伺います。  今後の県への働きかけと市民への説明について ③ 負担の議論だけで廃線論議が再燃することを防ぐため、市として「投資対効果」の視点を持ったシミュレーションを県へ強く求めるべきと考えますが、今後の方向性と市民への分かりやすい情報発信について伺います。	
					江田 産業振興部長	3 野菜の直売所設置要望への対応状況について  ① どうなってますか？